

文教・警察常任委員会資料  
平成28年(2016年)10月6日  
教育委員会事務局幼小中教育課

平成28年度  
全国学力・学習状況調査の結果

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

平成28年度全国学力・学習状況調査の概要について

1 実施概要

- (1) 実施日 平成28年4月19日(火)
- (2) 対象学年 小学校第6学年、中学校第3学年
- (3) 実施教科

①教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ・主として「知識」に関する問題(A問題)<sup>1</sup>
- ・主として「活用」に関する問題(B問題)<sup>2</sup>

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査(今年度よりWebによる回答)

(4) 実施学校数 悉皆調査

	全学校数	調査対象児童生徒の在籍する学校数	4月19日に調査を実施した学校数	4月20日以降に調査を実施した学校数
市町立小学校	225	223	222	1
特別支援学校(小学部)	12	1	1	0
市町立中学校	97	96	96	0
県立中学校	3	3	3	0
特別支援学校(中学部)	12	5	5	0
公立学校計	349	328	328	

2 教科に関する調査の実施結果(公立)

○平均正答率(平均正答数)

		小学校				中学校			
		国語A (15問)	国語B (10問)	算数A (16問)	算数B (13問)	国語A (33問)	国語B (9問)	数学A (36問)	数学B (15問)
平成28年度	滋賀県	72.6% (10.9)	56.5% (5.6)	75.8% (12.1)	45.8% (6.0)	74.0% (24.4)	63.3% (5.7)	61.3% (22.1)	42.3% (6.3)
	全国	72.9% (10.9)	57.8% (5.8)	77.6% (12.4)	47.2% (6.1)	75.6% (25.0)	66.5% (6.0)	62.2% (22.4)	44.1% (6.6)
平成27年度	滋賀県	68.6%	63.7%	72.7%	43.0%	74.1%	63.8%	63.8%	39.2%
	全国	70.0%	65.4%	75.2%	45.0%	75.8%	65.8%	64.4%	41.6%

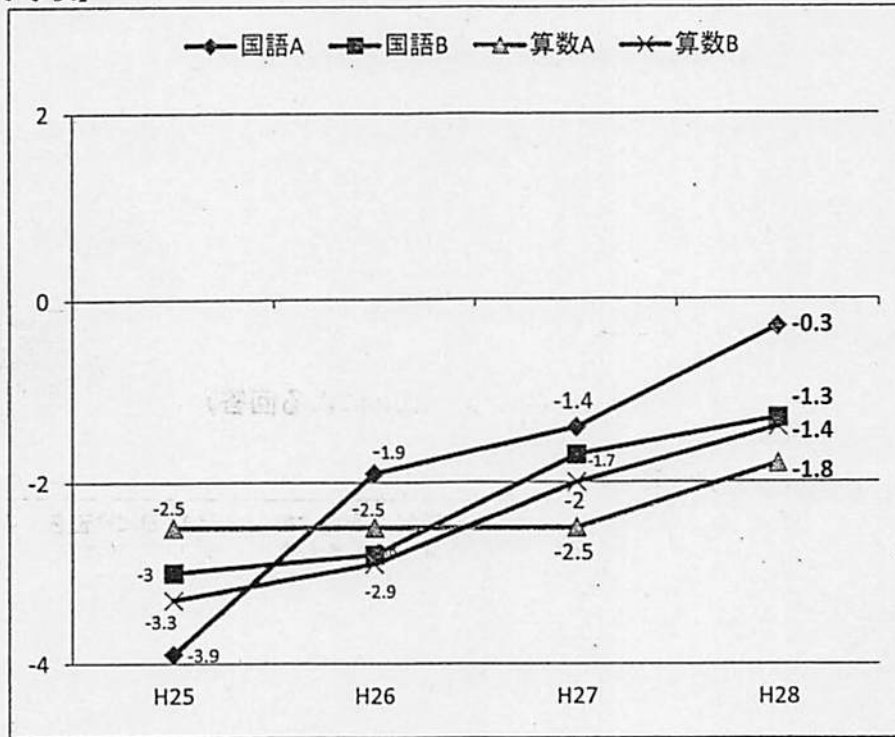
<sup>1</sup> A問題:基礎的な知識・技能を問う内容で、例えば、漢字を読む・書く、正と負の数の計算、文字式の計算、方程式の性質、文章の要約など、確実に身に付けていることが求められる問題で構成されている。

<sup>2</sup> B問題:各教科の学習内容を総合的にとらえ、学んだ知識・技能等をもとに考えたり、判断したりする力が身に付いているかを見るための問題で構成されている。問題を解くために、どの知識を活用するか判断し、自分の考えを表現することから、総合的な力や表現力も問われる内容である。

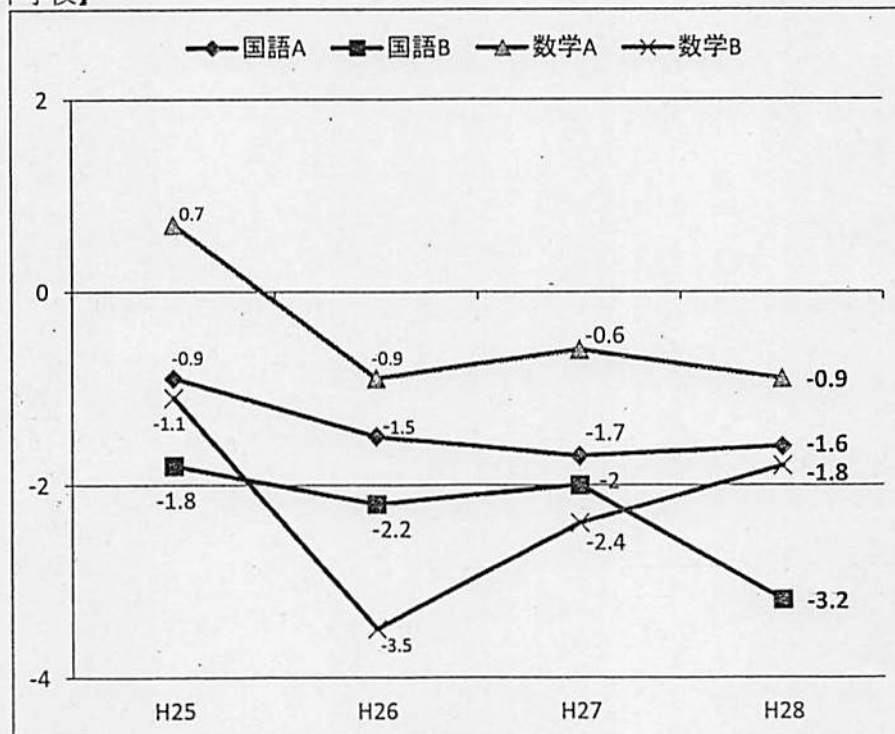
平成 28 年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

1 学力の状況〈滋賀県の平均正答率と全国平均の差の推移〉

【小学校】



【中学校】



【グラフの見方】

縦軸0を全国の平均正答率として、平成25年度から今年度までの各教科調査結果の正答率との差を折れ線で示している。

## 学力状況についての調査結果の概要

本年度の調査結果では、小学校は国語のA問題・B問題、算数のA問題・B問題、中学校は国語のA問題、数学のB問題で改善が見られた。特に、算数・数学のB問題は小学校・中学校ともに改善が見られている。

このことは、B問題が身に付けた知識を活用したり、判断して考えを表現したりする力を問う内容であることから、各学校において、授業での話し合い活動や、記述することにより自分の考えをまとめる活動などを充実させたことにより、思考力や判断力、表現力を向上させる授業改善が行われてきた成果ととらえられる。

小学校については、これまで課題であった算数のA問題が昨年度と比べ約0.7ポイント改善されるとともに、算数のB問題が、平成25年度から3年連続して約0.6ポイント（昨年度比）改善された。また、国語においてもA問題は約1.1ポイント、国語のB問題は約0.4ポイント改善された。

このことは、一人ひとりのつまずきに応じたきめ細かい指導の充実や、放課後等の活用のほか、家庭学習を充実させることなどにより、基礎的・基本的な知識や技能の習得に関する指導が充実してきたことによると考えられる。

中学校については、昨年度と比べ、国語のA問題で約0.1ポイント、昨年に続いて数学のB問題で約0.6ポイントの改善が見られたものの、国語のB問題、数学のA問題では、伸びが見られなかった。

国語のB問題は、複数の資料を読み、根拠を明確にして考えを答える問題が多くあり、このことについての指導の改善が十分に進んでいないことが課題であるととらえている。

小学校・中学校ともに、全体として全国の平均正答率との差が2ポイント以内に縮まってきている。小学校は、いずれの調査結果でも改善の成果が見られるが、中学校では、昨年度と比べて全国の平均正答率との差が、数学のA問題では約0.3ポイント、国語のB問題でも約1.2ポイント広がっている。

各教科の学習において、資料や図、データなどを読んで考えるという機会をできるだけ増やすなど、目的に応じて必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりする学習を取り入れる等の指導の工夫充実が求められる。

## 学習状況についての児童・生徒質問紙調査結果の概要

小学校・中学校ともに「授業の最後に学習内容を振り返る活動をしている」と回答している割合が高くなった。特に小学校では、今年度、全国よりも1.3ポイント高くなった。授業改善の取組成果ととらえている。

児童生徒への質問紙調査で「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも挑戦する」「家で自分で計画を立てて勉強する」の質問について、肯定的な回答をしている割合が小学校で高くなった。学校や家庭での生活において意欲的にものごとに取り組み、その成果を実感している様子がうかがえる。

また、小学校・中学校ともに「地域の行事に参加している」と回答する割合は、これまでと同様に全国よりも10ポイントほど高く、子どもたちが地域の人たちと多くふれあいながら生活している様子がうかがえる。

## 2 「学ぶ力向上 滋賀プラン」の6つの視点での分析（データ：P14～17）

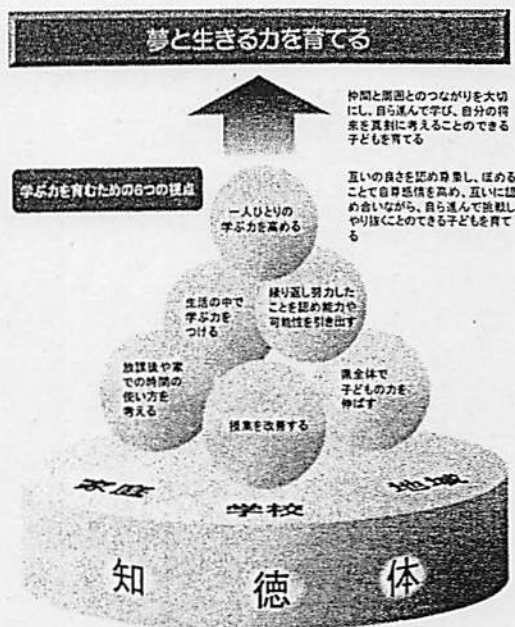
本県では、市町教育委員会や学校とともに「学ぶ力向上 滋賀プラン」の6つの視点（右図を参照）をもとにして、学ぶ力向上の取組を進めてきた。

それぞれの視点で4項目ずつ児童・生徒質問紙の項目による経年変化を分析した結果、

小学校では、「一人ひとりの学ぶ力を高める」「繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す」「授業を改善する」の各視点において、多くの質問項目で改善していることが示された。

中学校でも、「授業を改善する」の視点において、全ての質問項目で全国との差が縮まった。しかし、その差はまだ開いており、更なる授業改善の工夫があると考えられる。

各視点については、以下のとおりである。



(○…よい傾向が見られた質問項目、△…さらに改善が必要な質問項目)

### 一人ひとりの学ぶ力を高める

- 「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」と回答した児童や生徒が全国よりも多い。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童や生徒が増加。

### 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

- 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童や生徒が増加。

### 生活の中で学ぶ力をつける

- 「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」と回答した児童や生徒が増加。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童や生徒が増加。

### 授業を改善する

- 4項目の全てで改善が見られた。
- 「授業では自分の考えを発表する機会が与えられていた」と回答した児童や生徒が増加。
- 「授業では最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と回答した児童や生徒が増加し、特に小学校では、全国との差が13.1ポイント改善した。

### 放課後や家での時間の使い方を考える

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童や生徒が増加。
- △「普段（月～金曜日）、1日当たり、1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている」と回答した児童や生徒が依然として多い。

### 県全体で子どもの力を伸ばす

- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童や生徒の割合が全国よりも高い。
- 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と回答した児童や生徒が増加し、特に中学校では、全国との差が1.4ポイント改善した。

### 3 学ぶ力向上に向けての本県の取組

#### 一人ひとりの学ぶ力を高める

##### ○少人数による学習指導

35人学級や少人数指導により、一人ひとりのつまずきに応じたきめ細かな指導の充実を図る。

#### 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

##### ○学ぶ力パワーアップ事業

少人数指導を中心とした基礎学力を向上させる実践研究

##### ○学年別ステップアップ事業

基礎的・基本的な知識・技能の定着 → 思考力・判断力・表現力の育成

#### 生活の中で学ぶ力をつける

##### ○学級活動スキルアップ事業

学習する基盤となる学級での活動を活性化させ、学び合う学習集団を形成

#### 授業を改善する

##### ○教科主任指導力向上研修 (H26～)

##### ○学力向上アプローチ事業 (H24～H27) → 主体的・協働的な学び推進事業 (H28～)

活用する力を付ける実践研究

アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善

#### 放課後や家での時間の使い方を考える

##### ○放課後等活用事業

放課後等を活用した学習支援

##### ○家庭学習の充実

各市町や学校において家庭学習の手引を作成・活用

授業と家庭学習をつなぐための参考資料の作成

### 4 今後の改善の方向性

#### ○授業改善をさらに加速するために、教員の指導力向上を図る取組

学校訪問を中心とした授業改善を進める校内研究への指導助言

コア・ティーチャー（指導的立場となる教員）によるモデルとなる授業の公開

#### ○基礎的・基本的な学習内容の定着を図る取組

「学び確認テスト」「学び直しプリント」を活用した、定着の確認と補充学習の実施

#### ○学習活動の基盤である学級の活動を充実させる取組

学級での活動を充実し、子どもたちが互いを認め合い、学び合う取組

#### ○学習指導要領の改訂を踏まえた授業改善の取組

アクティブ・ラーニングの視点を生かした授業や保育の実施

滋賀県教育委員会	児童数 13,195
----------	---------------

滋賀県	児童数 13,195
-----	---------------

※児童数の割合は、四択肢のうち、肯定的に回答されたものの2つを足した割合である。

1段目：児童数 2段目：児童数の割合(%)

★新項目	質問事項	全国		滋賀県		H28 滋賀県	H27 滋賀県	H28 全国	H27 全国	(%)
		H27	H28	H27	H28					
★ (47)	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか		77.8		77.0	77.0		77.8		
(48)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	86.7	85.1	85.1	84.3	84.3		85.1		86.7
(49)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	85.2	83.4	83.8	83.5	83.5		83.8		85.2
(50)	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	74.2	75.7	69.9	73.7	73.7		75.7		74.2
★ (51)	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか		77.1		77.1	77.1		77.1		
★ (52)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか		64.2		62.3	62.3		64.2		
(53)	5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	86.3	87.6	84.9	88.0	88.0		87.5		86.3
(54)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	75.3	76.1	70.3	76.3	76.3		76.1		75.3
(55)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	87.1	87.9	84.1	88.2	88.2		87.9		87.1
★ (56)	5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか		77.6		77.8	77.8		77.6		

回答結果集計 [生徒質問紙]

授業改善にかかる質問紙項目(47)～(56)

滋賀県教育委員会一生徒

滋賀県教育委員会	生徒数 12,921
----------	---------------

滋賀県	生徒数 12,921
-----	---------------

※生徒数の割合は、四択肢のうち、肯定的に回答されたものの2つを足した割合である。

1段目：生徒数 2段目：生徒数の割合(%)

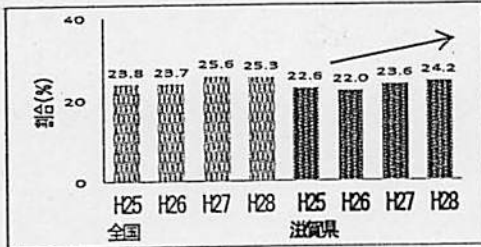
★新項目	質問事項	全国		滋賀県		割合(%)				
		H27	H28	H27	H28	H28 滋賀県	H27 滋賀県	H28 全国	H27 全国	(%)
★(47)	1. 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか		73.8		70.7	70.7	73.8			
(48)	1. 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	85.9	84.1	83.8	82.0	82.0	83.8	84.1	85.9	
(49)	1. 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	78.2	77.8	73.8	75.1	75.1	73.8	77.8	78.2	
(50)	1. 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	65.7	69.3	59.2	64.8	64.8	59.2	69.3	65.7	
★(51)	1. 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか		72.4		68.6	68.6	72.4			
★(52)	1. 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか		57.7		51.7	51.7	57.7			
(53)	1. 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	79.7	84.9	78.4	85.2	85.2	78.4	84.9	79.7	
(54)	1. 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	59.3	63.1	49.3	54.9	54.9	49.3	63.1	59.3	
(55)	1. 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	73.7	76.8	69.4	75.8	75.8	69.4	76.8	73.7	
★(56)	1. 2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか		74.1		70.6	70.6	74.1			



(1) 一人ひとりの学ぶ力を高める

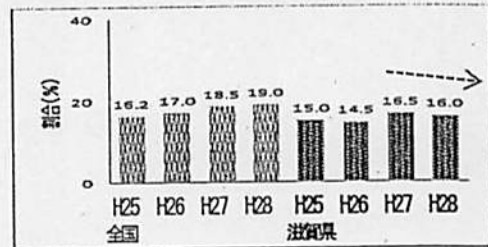
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で0.6%増加

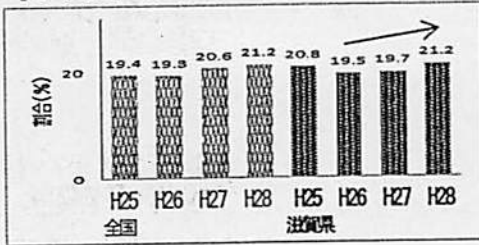
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で0.5%減少

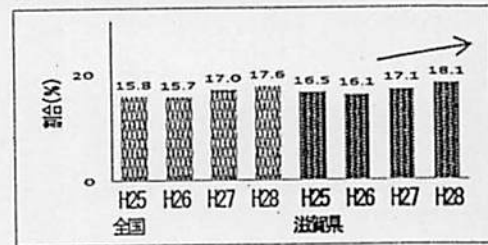
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で1.5%増加

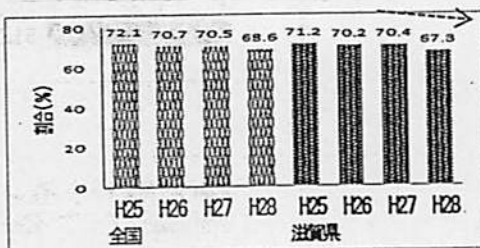
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で1.0%増加

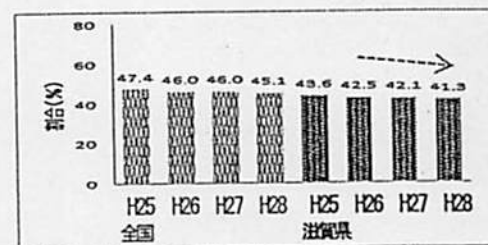
将来の夢や目標を持っていますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で3.1%減少

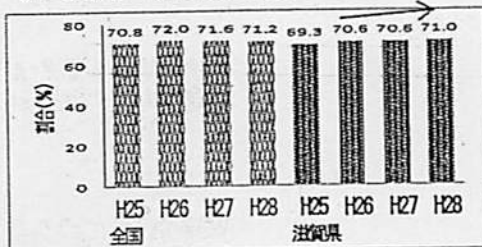
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で0.8%減少

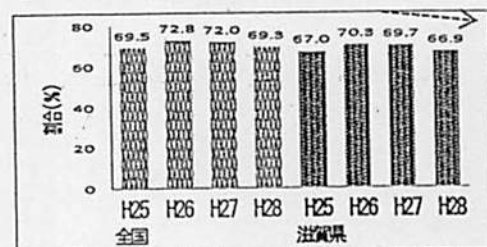
人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で0.4%増加

【中学校】 (当てはまると回答した割合)

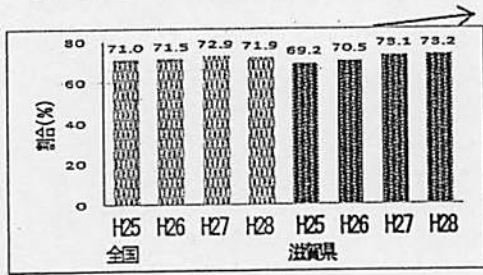


中学校で2.8%減少

(2) 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

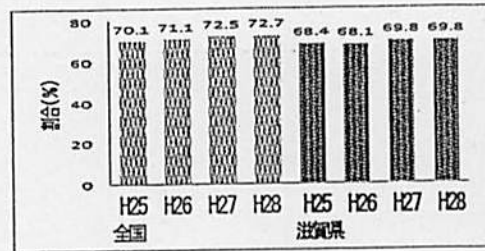
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で0.1%増加

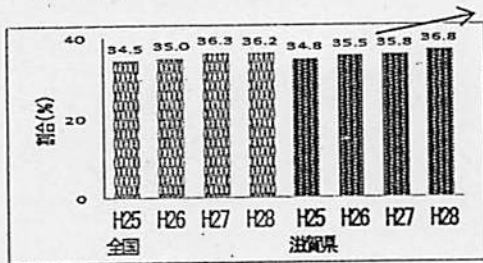
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



昨年と同じ数値

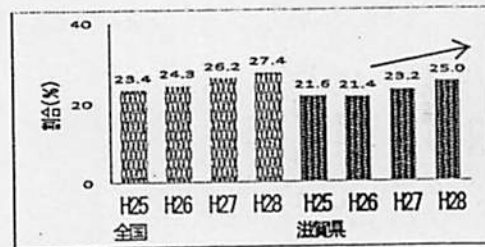
自分には、よいところがあると思いますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で1.0%増加

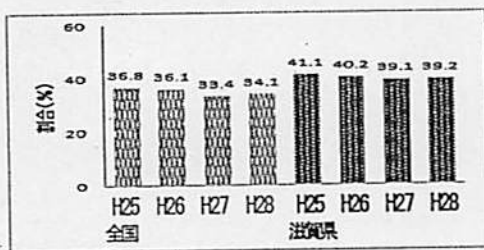
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で1.8%増加

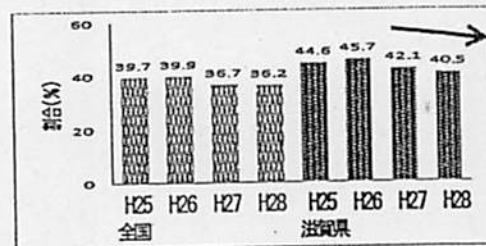
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

【小学校】 (そう思うと回答した割合)



小学校で0.1%増加

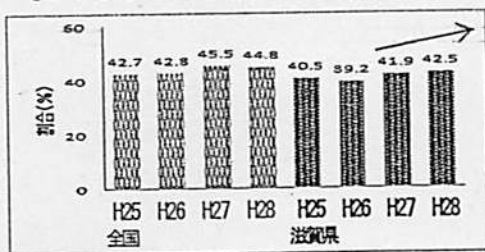
【中学校】 (そう思うと回答した割合)



中学校で1.6%減少

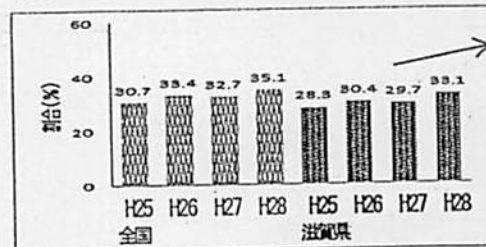
算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で0.6%増加

【中学校】 (当てはまると回答した割合)

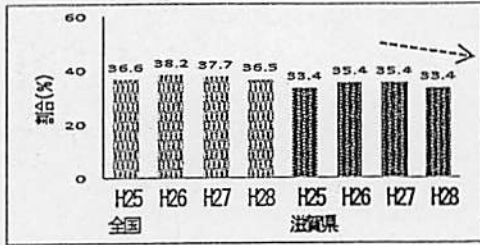


中学校で3.4%増加

### (3) 生活の中で学ぶ力をつける

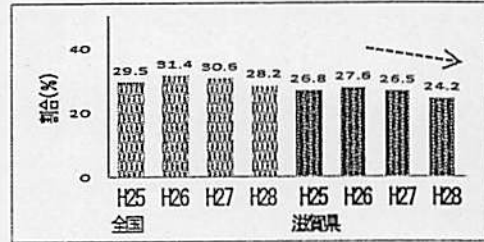
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり30分以上、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

【小学校】（30分以上すると回答した割合）



小学校で2.0%減少

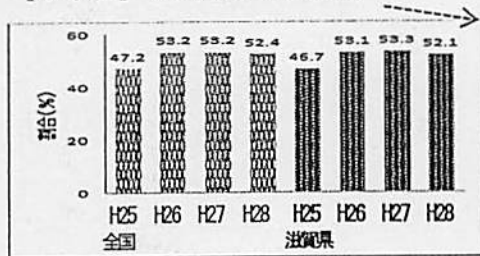
【中学校】（30分以上すると回答した割合）



中学校で2.3%減少

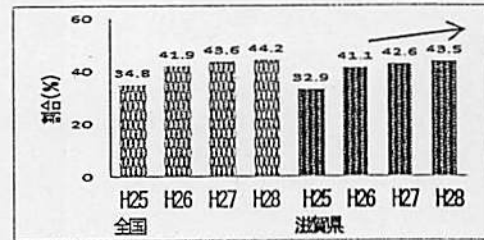
家の人と学校での出来事について話をしますか

【小学校】（していると回答した割合）



小学校で1.2%減少

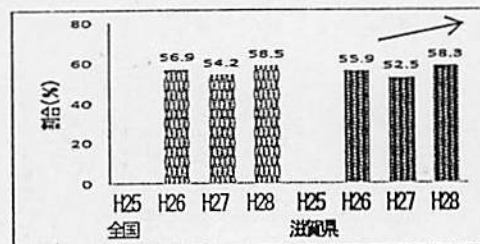
【中学校】（していると回答した割合）



中学校で0.9%増加

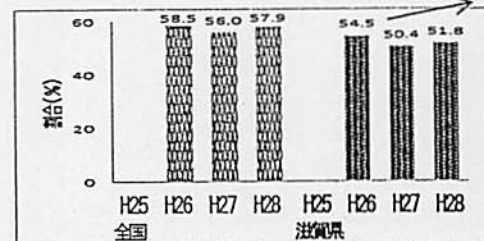
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

【小学校】（当てはまると回答した割合）



小学校で5.8%増加

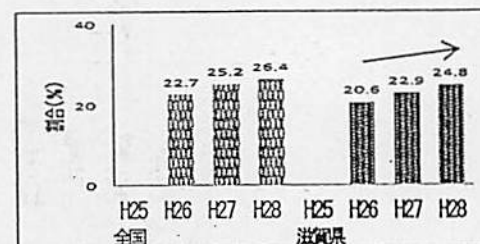
【中学校】（当てはまると回答した割合）



中学校で1.4%増加

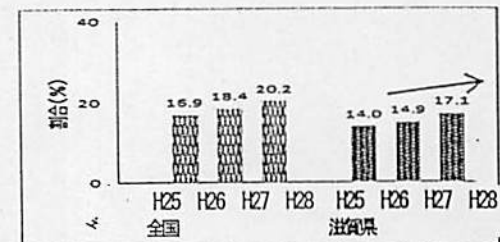
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

【小学校】（そう思うと回答した割合）



小学校で1.9%増加

【中学校】（そう思うと回答した割合）

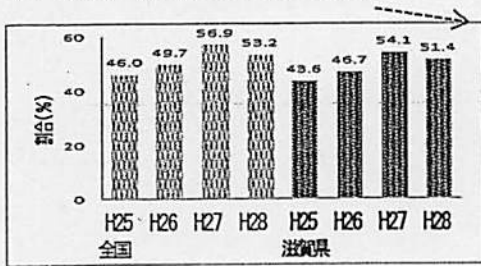


中学校で2.2%増加

#### (4) 授業を改善する

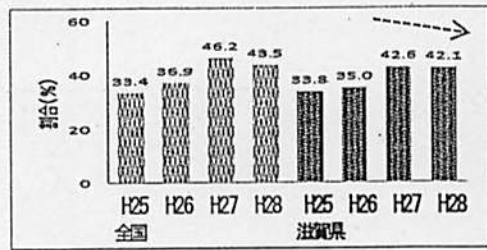
授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で2.7%減少

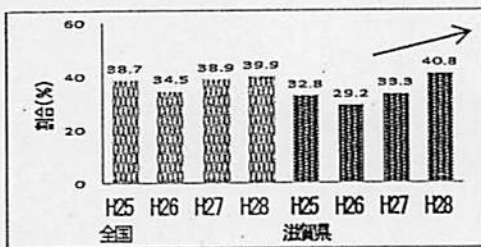
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で0.5%減少

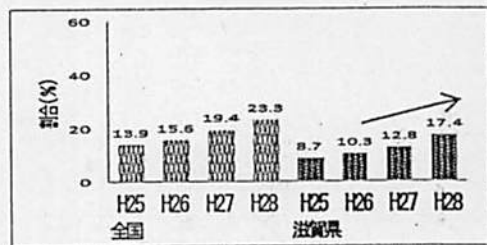
授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で7.5%増加

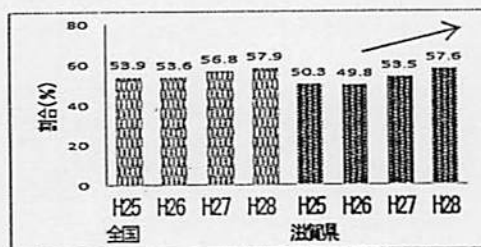
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で4.6%増加

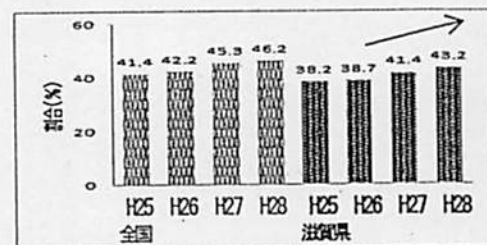
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で4.1%増加

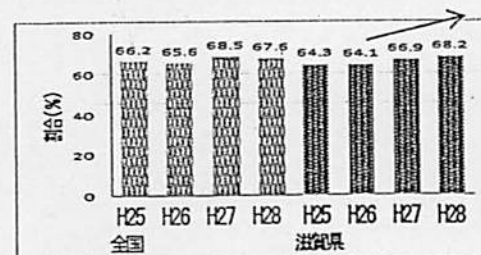
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で1.8%増加

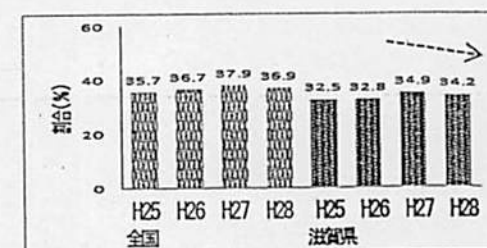
算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で1.3%増加

【中学校】 (当てはまると回答した割合)

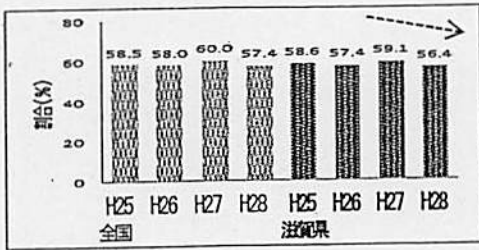


中学校で0.7%減少

(5) 放課後や家での時間の使い方を考える

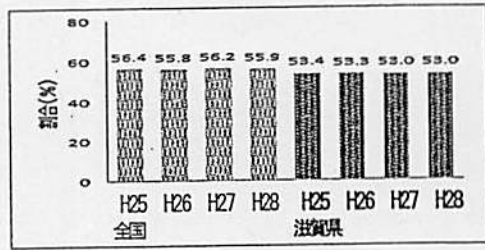
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

【小学校】 (していると回答した割合)



小学校で2.7%減少

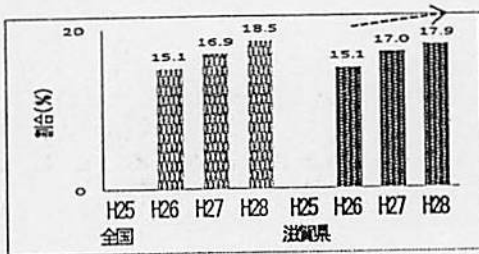
【中学校】 (していると回答した割合)



昨年と同じ数値

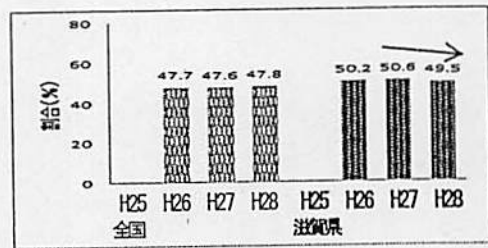
普段(月~金曜日)、1日当たり、1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームをする時間は除く)

【小学校】 (1時間以上すると回答した割合)



小学校で0.9%増加

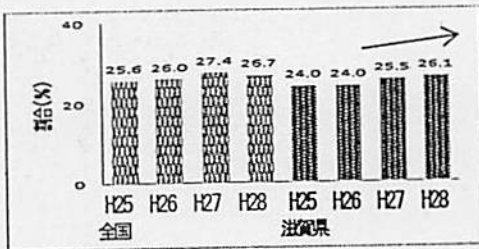
【中学校】 (1時間以上すると回答した割合)



中学校で1.1%減少

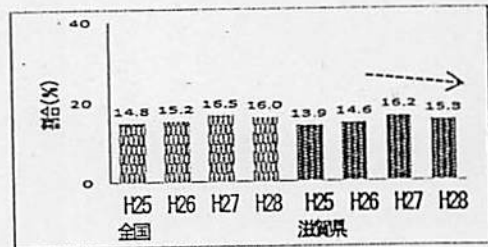
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

【小学校】 (していると回答した割合)



小学校で0.6%増加

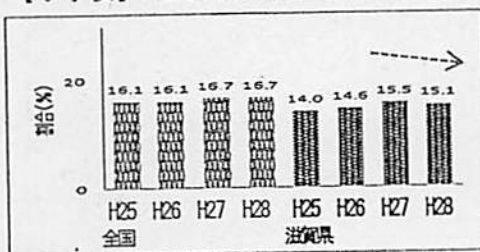
【中学校】 (していると回答した割合)



中学校で0.9%減少

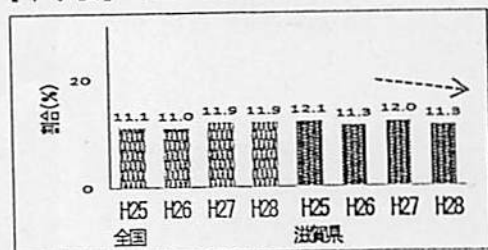
家で、学校の授業の予習をしていますか

【小学校】 (していると回答した割合)



小学校で0.4%減少

【中学校】 (していると回答した割合)

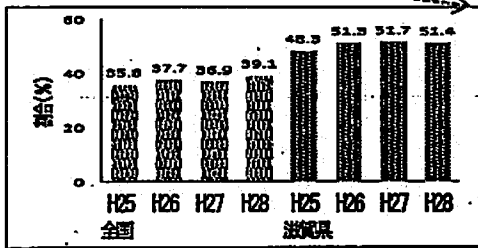


中学校で0.7%減少

(6) 県全体で子どもの力を伸ばす

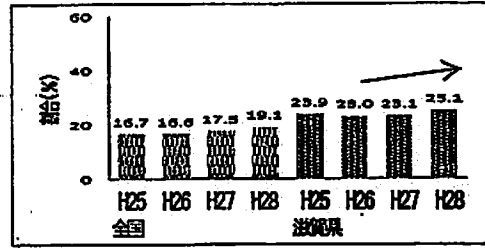
今住んでいる地域の行事に参加していますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で0.3%減少

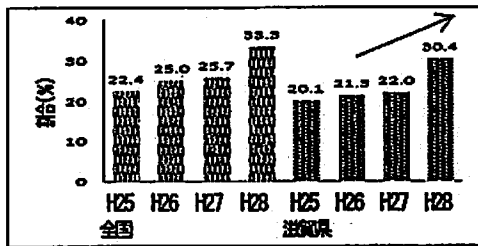
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



中学校で2.0%増加

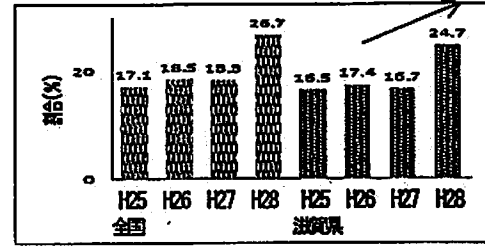
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



小学校で8.4%増加

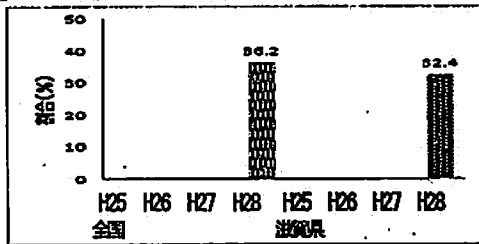
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



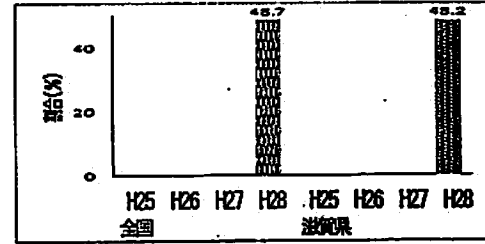
中学校で8.0%増加

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



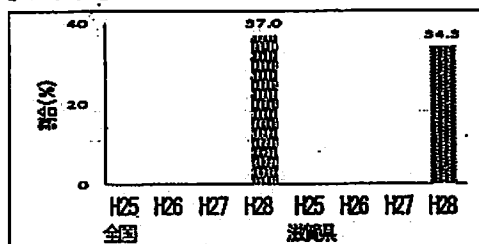
【中学校】 (当てはまると回答した割合)



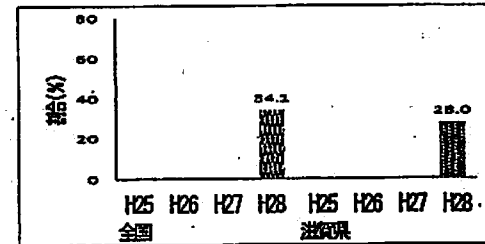
※平成27年度調査の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問を、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」に変更しました。

人が困っているときは、進んで助けていますか

【小学校】 (当てはまると回答した割合)



【中学校】 (当てはまると回答した割合)



※平成27年度調査の「人の気持ちに分かる人間になりたいと思いますか」の質問を、「人が困っているときは、進んで助けていますか」に変更しました。

学ぶ力を育むための6つの視点についての指標【滋賀県の昨年度との比較】

小学校

6つの視点	学習状況の児童生徒への質問項目	小学校					
		H27		H28		のび ※H27現状値を 2年で12点上回る	
一人ひとりの学ぶ力を高める	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	296.7	1264.9	298.2	1264.8	1.5	-0.1
	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	255.7		258.7		3.0	
	将来の夢や目標を持っていますか	350.1		344.8		-5.3	
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	362.4		363.1		0.7	
繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	366.5	1194.2	366.7	1196.9	0.2	2.7
	自分には、よいところがあると思いますか	305.6		305.6		0.0	
	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか(※2)	208.8		208.0		-0.8	
	算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	313.3		316.6		3.3	
生活の中で学ぶ力をつける	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(※1)	275.7	1220.3	272.5	1219.8	-3.2	-0.5
	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	329.7		327.3		-2.4	
	学校みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	333.9		333.9		0.0	
	学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	281.0		286.1		5.1	
授業を改善する	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	334.9	1322.6	331.8	1342.7	-3.1	20.1 ○
	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	296.2		311.6		15.4	
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	337.9		344.1		6.2	
	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	353.6		355.2		1.6	
放課後や家での時間の使い方を考える	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	348.7	1160.0	346.0	1153.7	-2.7	-6.3
	普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを読みますか	297.7		291.8		-5.9	
	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	277.2		278.7		1.5	
	家で、学校の授業の予習をしていますか	236.4		237.2		0.8	
県全体で子どもの力を伸ばす	今住んでいる地域の行事に参加していますか	322.3	1186.5	321.9	1215.1	-0.4	28.6 ○
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	273.1		292.4		19.3	
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか ☆	230.3		264.6		54.3	
	人が困っているときは、進んで助けている ☆	360.8		316.2		-44.6	

※質問項目点数の算出方法について

平成27年度全国学力・学習状況調査での児童生徒質問紙調査の質問項目について、「当てはまる」…4点、「どちらかといえば当てはまる」…3点、「どちらかといえば当てはまらない」…2点、「当てはまらない」…1点とし、各回答の割合とこれらの点数をかけて合計したもので算出しています。  
 (※1「読書…」については、30分以上、10～30分、10分未満、全くしないの順に4点、3点、2点、1点とした。 ※2「400字詰め原稿用紙…」については、そう思わない、どちらかといえばそう思わない、どちらかといえばそう思う、そう思うの順に4点、3点、2点、1点とした。 ※3「インターネット…」については、持っていない、30分より少ない、1時間より少ない、1時間以上の順に4点、3点、2点、1点とした。)

※質問項目の変更について

児童生徒質問紙調査について、平成28年度調査で質問項目が削除されたものがあるため、平成27年度調査の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問を、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか(表中☆)」に、また、平成27年度調査の「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」の質問を、「人が困っているときは、進んで助けている」(表中☆)に変更しました。

学ぶ力を育むための6つの視点についての指標【滋賀県の昨年度との比較】

中学校

6つの視点	学習状況の児童生徒への質問項目	中学校				
		H27	H28	のび ※H27現状値を 2年で12点上回る		
一人ひとりの学ぶ力を高める	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	278.9	1191.1	1185.9	-5.2	-0.3
	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	254.0				2.1
	将来の夢や目標を持っていますか	298.4				-3.4
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	359.8				-3.6
繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	361.3	1125.4	1138.2	12.8	0.2
	自分には、よいところがあると思いますか	277.6				0
	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか(※2)	200.6				4.9
	算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	285.9				7.7
生活の中で学ぶ力をつける	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(※1)	233.3	1128.1	1128.7	0.6	-7
	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	310.2				1.5
	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	321.3				0
	学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	263.3				6.1
授業を改善する	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	321.9	1182.0	1192.8	10.8	-2.4
	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	249.5				11.2
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	317.4				3.5
	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	293.2				-1.5
放課後や家での時間の使い方を考える	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	342.2	1013.2	1007.0	-6.2	0.6
	普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	202.5				0
	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	247.5				-1.7
	家で、学校の授業の予習をしていますか	221.0				-5.1
県全体で子どもの力を伸ばす	今住んでいる地域の行事に参加していますか	258.0	1088.3	1154.9	66.8	0
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	255.1				21
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか ☆	210.7				103.9
	人が困っているときは、進んで助けている ☆	364.5				-58.3

※質問項目点数の算出方法について 平成27年度全国学力・学習状況調査での児童生徒質問紙調査の質問項目について、「当てはまる」…4点、「どちらかといえば当てはまる」…3点、「どちらかといえば当てはまらない」…2点、「当てはまらない」…1点とし、各回答の割合とこれらの点数をかけて合計したもので算出しています。

(※1「読書…」については、30分以上、10～30分、10分未満、全くしないの順に4点、3点、2点、1点とした。 ※2「400字詰め原稿用紙…」については、そう思わない、どちらかといえばそう思わない、どちらかといえばそう思う、そう思うの順に4点、3点、2点、1点とした。 ※3「インターネット…」については、持っていない、30分より少ない、1時間より少ない、1時間以上の順に4点、3点、2点、1点とした。)

※※質問項目の変更について 児童生徒質問紙調査について、平成28年度調査で質問項目が削除されたものがあるため、平成27年度調査の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問を、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか(後中☆)」に、また、平成27年度調査の「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」の質問を、「人が困っているときは、進んで助けている」(後中☆)に変更しました。



学ぶ力を育むための6つの視点についての指標【全国と滋賀県の比較】

小学校

6つの視点	学習状況の児童生徒への質問項目	H27小学校				H28小学校			
		滋賀県	全国	全国との差	滋賀県	全国	全国との差		
一人ひとりの学ぶ力を高める	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	286.7	286.6	-1.9 Δ	286.2	286.0	0.2 ○		
	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	255.7	259.0	-0.3 Δ	258.7	258.0	0.7 ○		
	将来の夢や目標を持っていますか	350.1	350.9	-0.8 Δ	344.8	347.3	-2.5 ×		
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	362.4	363.2	-0.8 Δ	363.1	362.9	0.2 ○		
繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	366.5	366.1	0.4 ○	366.7	365.2	1.5 ○		
	自分には、よいところがあると思いますか	305.6	305.2	0.4 ○	305.8	305.2	0.6 ○		
	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか(※2)	208.8	223.5	-14.7 ×	208.0	221.6	-13.6 ×		
	算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	313.3	319.6	-6.3 ×	316.8	320.9	-4.3 ×		
生活の中で学ぶ力をつける	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(※1)	275.7	281.8	-6.1 ×	272.5	279.4	-6.9 ×		
	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	329.7	328.0	1.7 ○	327.3	326.7	0.6 ○		
	学校みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	333.9	336.2	-2.3 ×	333.9	336.2	-2.3 ×		
	学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	281.0	284.4	-3.4 ×	286.1	287.1	-1.0 Δ		
授業を改善する	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	334.9	340.1	-5.2 ×	331.8	334.5	-2.7 ×		
	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	298.2	308.0	-11.8 ×	311.6	310.3	1.3 ○		
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	337.9	342.3	-4.4 ×	344.1	343.9	0.2 ○		
	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	353.6	355.7	-2.1 ×	355.2	354.2	1.0 ○		
放課後や家での時間の使い方を考える	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	348.7	349.0	-0.3 Δ	346.0	346.3	-0.3 Δ		
	普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	297.7	297.1	0.6 ○	291.9	290.0	1.9 ○		
	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	277.2	281.1	-3.9 ×	278.7	279.9	-1.2 Δ		
	家で、学校の授業の予習をしていますか	238.4	240.7	-4.3 ×	237.2	240.8	-3.6 ×		
県全体で子どもの力を伸ばす	今住んでいる地域の行事に参加していますか	322.3	289.9	32.4 ○	321.9	292.8	29.1 ○		
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	273.1	279.0	-5.9 ×	292.4	294.6	-2.2 ×		
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか *	230.3	240.4	-10.1 ×	284.8	294.5	-9.9 ×		
	人が困っているときは、進んで助けている *	360.8	364.3	-3.5 ×	316.2	316.1	0.1 ○		

※質問項目点数の算出方法について 平成27年度全国学力・学習状況調査での児童生徒質問紙調査の質問項目について、「当てはまる」…4点、「どちらかといえば当てはまる」…3点、「どちらかといえば当てはまらない」…2点、「当てはまらない」…1点とし、各回答の割合とこれらの点数をかけて合計したもので算出しています。

※質問項目の変更について 児童生徒質問紙調査について、平成28年度調査で質問項目が削除されたものがあるため、平成27年度調査の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問を、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」(表中☆)に、また、平成27年度調査の「人の気持ち分かる人間になりたいと思いますか」の質問を、「人が困っているときは、進んで助けている」(表中☆)に変更しました。

表中の○×について 肯定的な回答をした割合が全国より上回っているか同じものを○、全国より2.0ポイント未満下回るものを△、2.0ポイント以上下回るものを×で表した。

学ぶ力を育むための6つの視点についての指標【全国と滋賀県の比較】

6つの視点	学習状況の児童生徒への質問項目	H27中学校				H28中学校			
		滋賀県	全国	全国との差	滋賀県	全国	全国との差		
一人ひとりの学ぶ力を高める	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	278.9	283.1	-4.2 ×	276.6	284.3	-5.7 ×		
	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	254	251.2	2.8 ○	256.1	252.6	3.5 ○		
	将来の夢や目標を持っていますか	298.4	308.7	-8.3 ×	295	304.8	-9.8 ×		
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	359.8	383.4	-3.6 ×	358.2	359.6	-3.4 ×		
繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	361.3	365.3	-4 ×	361.5	365.6	-4.1 ×		
	自分には、よいところがあると思いますか	277.6	284.6	-7 ×	277.8	284.6	-7 ×		
	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか(※2)	200.6	213.9	-13.3 ×	205.5	216.2	-10.7 ×		
	算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	285.9	294.4	-8.5 ×	293.6	299.3	-5.7 ×		
生活の中で学ぶ力をつける	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書しますが(※1)	233.3	247.6	-14.3 ×	226.3	240.7	-14.4 ×		
	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話しますか	310.2	311	-0.8 △	311.7	312	-0.3 △		
	学校みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	321.3	332.7	-11.4 ×	321.3	332.7	-11.4 ×		
	学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	283.3	272.4	-9.1 ×	269.4	276.2	-6.8 ×		
授業を改善する	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	321.9	328.8	-6.9 ×	319.5	323.9	-4.4 ×		
	授業の最後、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	249.5	269.4	-19.9 ×	260.7	276	-17.3 ×		
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	317.4	325.1	-7.7 ×	320.9	326.7	-5.8 ×		
	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	293.2	301.4	-8.2 ×	291.7	298.6	-6.9 ×		
放課後や家での時間の使い方を考える	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	342.2	348.6	-4.4 ×	342.8	348.6	-3.8 ×		
	普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	202.5	211.1	-8.6 ×	202.5	208.7	-4.2 ×		
	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	247.5	250.3	-2.8 ×	245.8	249.4	-3.6 ×		
	家で、学校の授業の予習をしていますか	221	219.6	1.4 ○	215.9	217.2	-1.3 △		
県全体で子どもの力を伸ばす	今住んでいる地域の行事に参加していますか	258	235.5	22.5 ○	258	238.3	21.7 ○		
	地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか	255.1	259.9	-4.8 ×	276.1	280.9	-4.8 ×		
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか *	210.7	216	-5.3 ×	314.6	318.5	-3.9 ×		
	人が困っているときは、進んで助けている *	364.5	368.4	-3.9 ×	308.2	315.1	-6.9 ×		

※質問項目点数の算出方法について 平成27年度全国学力・学習状況調査での児童生徒質問調査の質問項目について、「出てはまる」…4点、「どちらかといえば出てはまる」…3点、「どちらかといえば出てはまらない」…2点、「出てはまらない」…1点とし、各回答の割合とこれらの点数をかけて合計したもので算出しています。

※質問項目の変更について 児童生徒質問調査について、平成28年度調査で質問項目が削除されたものがあるため、平成27年度調査の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問を、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」(表中\*)に、また、平成27年度調査の「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」の質問を、「人が困っているときは、進んで助けている」(表中\*)に変更しました。

表中の○△×について 肯定的な回答をした割合が全国より上回っているか同じものを○、全国より2.0ポイント未満下回るものを△、2.0ポイント以上下回るものを×で表した。

小学校国語

B1 話の展開に応じて質問し、必要な情報を得る(スーパーマーケットの店長へのインタビュー)

1 山下さんは、食について興味をもち調べたところ、もっと知りたいことが出てきたので、地域のスーパーマーケットの店長にインタビューをすることにしました。次は、山下さんが「事前に準備したインタビューメモ」と「インタビューの一部」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【事前に準備したインタビューメモ】

〈もっと知りたいこと〉

スーパーマーケットの食料品売り場では、お客さんの要望にどのよう<sup>へ</sup>に<sup>こた</sup>えているのだろうか。

〈食料品売り場について調べたこと〉

スーパーマーケットでは、様々な外国産の食料品がばん売されている。

〈必ず聞くこと〉

外国産の食料品は売れているのか。  
(予想)ねだんが安いから、売れている。

〈必要に応じて聞くこと〉

ねだんが安いものが売れるのか。

最近売れている食料品は何か。

お客さんの反応はどうか。

地産地消についてどのように考えているか。

「地産地消」と書いたせん伝の文字があり、地域で生産された農作物などが売られている。

地域で生産された農作物などをばん売するのはなぜか。  
(予想)新せんなものをいきようするため。

【インタビューの一部】

山下さん

スーパーマーケットでは、様々な外国産の食料品が販売<sup>ばんばい</sup>されているようですが、外国産の食料品はよく売れていますか。

店長

よく売れている食料品もあります。

山下さん

売れている食料品は値段が安いのですか。

店長

そうですね。売れている外国産の食料品は値段の安いものも多いですよ。

山下さん

売れている外国産の食料品は安いものも多いということですが、安い食料品がお客さんに選ばれているのですか。

店長

安い食料品も売っていますが、産地に関わらず値段の高い食料品もお客様には選ばれています。

山下さん

お客さんは安いというだけで選んでいるわけではないということですね。では、お客さんは他にどのような理由で食料品を選んでいると思われませんか。

店長

新せんや品質など、安心して食<sup>た</sup>べることができるものを選んでいるお客様もいらっしゃると思っています。お客様は、様々な選び方をされているようです。

山下さん

分かりました。お客さんの選び方には、いろいろあるんですね。今の話とも関係があると思うのですが、店内には地元の農作物などを地元で売っている地産地消のコーナーがありました。地元の農作物もお客さんに選ばれているのですか。

店長

そうですね。地元のものはとても新せん<sup>あたら</sup>しくて、お客様にも、「安心しておいしく食べられる。」と、大好評です。

山下さん

〽(インタビューが続く)〽



B 1 二 正答率 : 51.2%

質問の意図を捉えることができるかどうかを  
みる

〔設問二の誤答例〕

- ・ 選択肢 1 を解答 : 13.0%, 選択肢 3 を解答 : 18.5%,  
 選択肢 4 を解答 : 16.7%
- 話の展開に沿って、インタビューメモにある質問  
 の順序や内容を変えるなど、インタビューメモを活  
 用した質問の意図を捉えることができていない。

B 1 三 正答率 : 50.6%

話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問す  
ることができるかどうかをみる

〔設問三の誤答例〕

- ・ 解答類型 5 : 14.6%, 解答類型 6 : 10.7%
- 直前の店長の発言を受けて書くことができていない。
- ・ 店長さんは、地産地消についてどのように考えていらっしゃい  
 ますか。(解答類型 5)
- ・ このスーパーマーケットで最近売れている他の商品には、どの  
 ようなものがあるのでしょうか。(解答類型 6)



話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。

B 2 活動報告文を書く（「早ね早起朝ごはん」運動）

2

六年一組の高野さんの学級では、健康な生活のために「早ね早起朝ごはん」運動に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級のみんなに伝えることにしました。次は、高野さんが書いてある「報告文の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果  
アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。

（図1）のように、活動を始める前の五月の時点では「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎても起きている人の割合が全国平均を上回り、早ねができていないはいえませんでした。それが半年間の活動後には、夜十時までにねる人の割合が

その理由として、（表1）から、「成長に大事なすいみんを十分にとるために、夜十時まではねましよう」という保健室の先生のお話がみんなの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きができたかを記録する活動を行ったこともあげられます。

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改善できず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。

課題は（図2）から分かるように、

この課題を解決するためには、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが（表2）から分かっています。

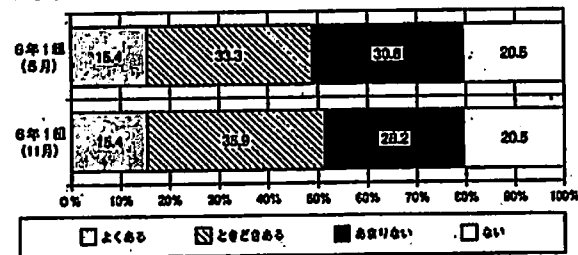
3 解決方法  
そこで、わたしたちは多くの人が取り組める次のような解決方法を考えました。

休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。  
今後は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思えます。

○「朝ごはん」活動について  
（報告文が続く）

〈図2〉

次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時間が2時間以上おそくなることはありますか。



〈表2〉

ねる時間が2時間以上おそくなる理由は何ですか。（いくつか書いてもかまいません。）（6年1組 11月）

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友達とメールなどをしているから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなも起きているから。	4人
その他	7人

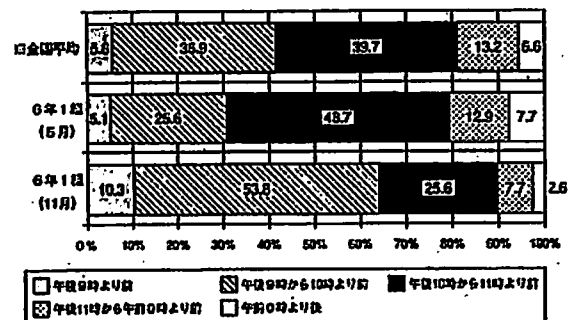
〈表1〉

早ねをするようになった理由は何ですか。（いくつか書いてもかまいません。）（6年1組 11月）

保健室の先生のお話から、すいみんが成長に大事だと分かったから。	23人
毎日体を動かしたら、早くおられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
早ねを毎日続けるようにしたら習慣になったから。	8人
早ねをしたら授業に集中できるようになったから。	6人
その他	11人

〈図1〉

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。



（口全国平均は、文部科学省「平成26年度国民生活意識調査に関する調査研究一施設を中心とした生活習慣と子供の自立等の関係性に関する調査一」に基づく。）

二 高野さんは、「2 課題」と「3 解決方法」について書きようとしています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高野さんは、「2 課題」について〈図2〉を用いて書きようとしています。□Bの中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 〈図2〉の結果から考えて書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、四十以上、六十以内にもとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

現在の解答用紙は下書き用紙で、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。今の印から書きましょう。どちらかで行を定めないで、続けて書きましょう。

課題は〈図2〉から分かるように、	
60字	40字

(2) 高野さんは、「2 課題」を受け、多くの人が取り組めることを考えて「3 解決方法」を書こうとしています。□Cの中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 〈表2〉の結果から考えて書くこと。

○ 「テレビやゲーム」と「メールなど」の両方の言葉を使って書くこと。

現在の解答用紙は下書き用紙で、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。今の印から書きましょう。どちらかで行を定めないで、続けて書きましょう。

課題	
60字	40字

三 高野さんは、「早ね早起き」活動のまどめの中で、「1 成果」だけではなく、「2 課題」も取り上げて書きました。課題を取り上げた効果の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 問題点を解決しながら、さらに成果が上がる活動につなげることができる。
- 2 活動に取り組むよさが明らかになり、それを多くの人に広めることができる。
- 3 この活動に取り組む始めるようになった、最初のきっかけに気づくことができる。
- 4 成果が強調されて、この活動の必要性をより強く感じることが出来る。

### 問題の概要

- 二(1) 「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く
- 二(2) 「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く
- 三 「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する

### 正答

- 二(1) (例)  
次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時こくが二時間以上おそくなる人のわり合が減っていないことです。
- 二(2) (例)  
ねる時こくがおそくならないように、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間を決める。
- 三 1

B 2 二(1) 正答率：51.5%

目的や意図に応じて、グラフの結果を基に、自分の考えを書くことができるかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書く）や27年度調査での課題（目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら、自分の考えを書く）を踏まえたもの

〔誤答例〕

- ・ 解答類型 9 : 40.5%
- 〈図2〉の調査結果を捉えることはできているが、活動前（5月）と活動後（11月）の状況を比較した上で、本文中にある「今回の活動では改善できず」という点に対する課題が何かを捉えて書くことができていない。
- ・ 次の日に学校がない日は、学校にある日に比べて、ねる時こくが二時間以上おそくなる人がいることです。
- ・ 次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時こくが二時間以上おそくなるのがときどきある人が多いということです。

B 2 二(2) 正答率：64.4%

目的や意図に応じて、表の結果を基に、自分の考えを書くことができるかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書く）や27年度調査での課題（目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら、自分の考えを書く）を踏まえたもの

〔誤答例〕

- ・ 解答類型 3 : 8.3%
- 〈表2〉から、寝る時刻が2時間以上遅くなる理由として、「夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから」という内容を捉え、解決方法を書くことはできているが、「夜おそくまで友達とメールなどをしているから」という内容を捉えることができていない。
- ・ 休みの日でも、夜おそくまでテレビやゲームなどをしないようにする。
- ・ 解答類型 4 : 12.2%
- 〈表2〉の結果のみを記述し、解決方法に触れることができていない。
- ・ ねる時こくが二時間以上おそくなるのはテレビやゲーム、メールなどをしている人が多いからです。

B 2 三 正答率：58.5%

活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えることができるかどうかをみる

〔誤答例〕

- ・ 選択肢 2 を解答 : 12.2%
- ・ 選択肢 4 を解答 : 18.0%
- 活動報告文における構成の効果を捉えきれず、「成果」を取り上げた効果に着目している。



目的や意図に応じて、グラフや表の結果を基に、自分の考えを書いたり、文章構成の効果を捉えたりすることに課題がある。



B 3 将来なりたい職業について調べ、紹介する（職業「パン職人」）


3


谷口さんたちは、将来なりたい職業について調べ、クラスの中で紹介し合うことにしました。谷口さんは、パン職人を選び、「資料1」を読みましたが、もっとくわしく知りたいと思ったので、「資料2」も読みました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

焼き立てのがおりに包まれて  
**パン職人の仕事**

《パン屋さんの一日》

5:00	パンの生地の確認	パンの形作り、焼き			<p>朝5時からパン作り開始 7時の開店に焼き立てのパンを並べるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形にし、発酵させ、焼き上げます。何種類ものパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。</p> <p><b>気になる天気</b> パンの仕上がりは天気や気温、湿度によって大きく左右されます。翌日の天気予報を確認し、生地の配合や量を調節します。</p>
7:00	開店	パンの形作り、焼き			
11:30	翌日の天気の確認	翌日の生地作り			
14:00	翌日の天気の確認	翌日の生地作り			
17:00	片付け	翌日の準備			
19:00	閉店				



《パン職人への道》

```

graph TD
    A[① 中学校] --> B[② 高等学校]
    A --> C[⑤ 助手として修業]
    B --> C
    B --> D[④ 専門学校]
    C --> E[⑥ パン職人]
    D --> E
    
```

【資料2】パン職人について書かれた本のインタビューのページ  
くパン職人の坂下さんに聞いてみました。

**パン職人の声**

◆ パン職人になったきっかけを教えてください。  
子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が大好きで、たくさんのパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えるようになりました。

◆ どのようにして、パン職人になったのですか。  
中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入学していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たってパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

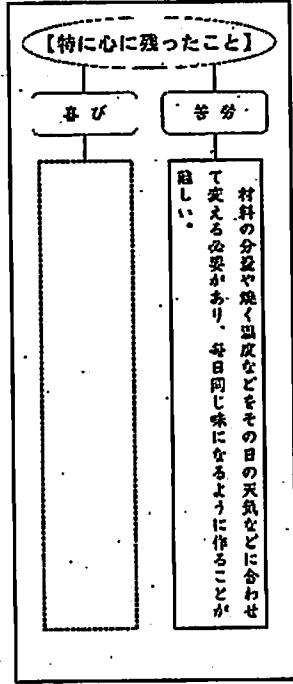
◆ この仕事の大変なところ、苦勞は何ですか。  
同じ種類のパンでも、材料の分量や焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるため、毎日同じ味になるように作り方を考えることが難しいです。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思いとおりに作ることは、さらに難しいです。

◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。  
わたしはパンが大好きなので、パンのかおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。自分の思いとおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおいに包まれながら、ふっくらと焼き上がったパンがまから出てくると、パン作りの苦勞がふき飛びます。焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「わあ、「おいしそう。」とかん声が上がることがあるのですが、そんなふうにお客様のうれしそうなお声が聞こえた時は、パン職人をやっているよかったです。

7


自分の思いがけず書けたので、読んでほめられてうれしかった。記事は、記事の目的に合ったように書くことが大切だ。記事は、記事の目的に合ったように書くことが大切だ。

- 谷口さんの「特に心に残ったこと」は伝わるように書いている。
- 「資料2」から取り上げている。
- 四十字以上、六十字以内で書くこと。



【資料2】を参考に書いたメモの一部

【特に心に残ったこと】  
毎日、天気に関わらず同じ味になるように作るのは、とても難しいことだけれど、お客さんが喜んでくれた時には、やりがいを感じる事ができるんだ。

【特に心に残ったこと】

三 谷口さんは、パン職人の仕事について、「特に心に残ったこと」を中心に紹介したいと考えています。そこで、「資料2」を読み直しながら、紹介したいことをメモにまとめていきます。次の「資料2」をもとにしたメモの一部の□の中に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。



谷口さん

**問題の概要**

三 「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く

**正答**

三 (例)  
焼き立てのパンが店にならび、お客様のうれしそうな声が聞こえた時は、パン職人をやっていてよかったと実感する。

B3 三 正答率：53.2%

目的に応じて、複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしながら読むことができるかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関係付けて読むこと）や26年度調査での課題（分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くこと）を踏まえたもの

**【誤答例】**

- ・解答類型3：10.2%
  - 谷口さんの【特に心に残ったこと】が伝わるように書いているが、【資料2】を取り上げていない。
    - ・自分がいっしょけんめい作ったパンをお客さんに喜んでもらった時にこれからもがんばろうと思う。
- ・解答類型4：13.9%
  - 【資料2】から取り上げることができているが、谷口さんの【特に心に残ったこと】の「お客さんが喜んでくれた時には」という部分を捉えることができていない。
    - ・パンのかおりに含まれている時や、自分の思いどおりのパンが焼きあがった時などがうれしい。

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。

A 2 情報を関係付けながら話し合う

2

山本さんたちは、全校集会で歌う歌を決めることにしました。次は、「各学年からの希望」をもとにした「話し合いの様子の一部」です。山本さんたちがどのように話し合いをしているのか、その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【各学年からの希望】

各学年からの希望を  
もとに、全校集会で歌う  
歌を決めよう。

音楽の時間に習った歌  
・みんながよく知っている歌  
（二年）  
テレビ番組の主題歌  
・歌しを見なくても歌える歌  
（三、四年）  
（五、六年）

【話し合いの様子の一部】

山本 一年生が希望している、音楽の時間に習った歌なら、二年生が希望している、みんながよく知っている歌にも当てはまるかもしれないよ。

小野 音楽の時間に習った歌の中には、テレビ番組の主題歌もあるね。

松原 そうだね。テレビ番組の主題歌の中には、歌詞を見なくても歌える歌もあるかもしれないよ。

小野 それなら、みんなの希望を生かせそうだね。ぼくたちが候補の歌を挙げて、アンケート調査をしてみたらどうかね。

山本 それはいい考えだね。  
（話し合いが続く）

問題の概要

全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する

正答

2

- 1 各学年からの希望を比べて、ちがう点を見つけながら話し合っている。
- 2 各学年からの希望を関係づけながら、希望に合う歌を選ぼうと話し合っている。
- 3 各学年からの希望をもとに、目的に合わないものを見つけようとして話し合っている。
- 4 各学年からの希望それぞれについて、関係する歌を多く出そうと話し合っている。

A 2 正答率：79.3%

【誤答例】

目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合うことができるかどうかをみる

- ・ 選択肢4を解答：14.9%
- 各学年からの希望を関係付け、希望を生かして話し合っているということを捉えることができていない。

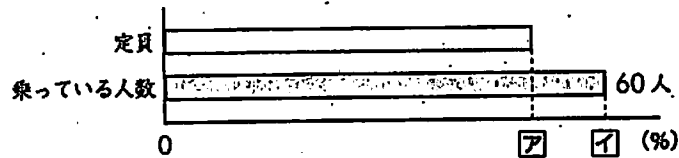
目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合うことは良好である。

# 小学校算数

## A 9 百分率

(2) バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%分多いそうです。

定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中の「ア」と「イ」には、下の4つの数のいずれかが入ります。

「ア」と「イ」に入る数をそれぞれ書きましょう。

20	80	100	120
----	----	-----	-----

## 問題の概要

(2) 定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書け

## 正答

(2) ア 100 イ 120

A 9 (2) 正答率 : 51.2%

1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解しているかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（割合の意味を理解すること）や27年度調査での課題（示された情報から基準量を捉え、比較量と割合から基準量を求めること）を踏まえたもの

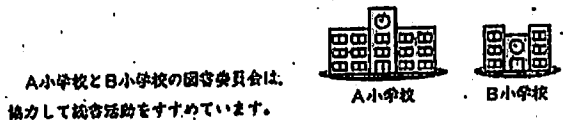
### 【誤答例】

・ 解答類型4 (アに80, イに100と解答している) : 13.2%

● 基準量を誤って捉えている。

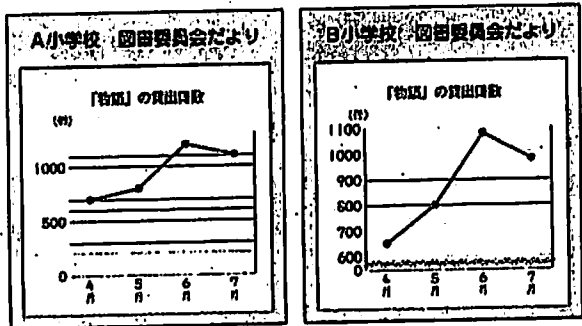
基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに依然として課題がある。

B4 資料の読み取りと判断の根拠の説明 (本の貸出冊数調べ)



A小学校とB小学校の図書委員会は、協力して読書活動をすすめています。

(3) 各学校の図書委員たちは、読書活動をすすめた成果を表すために、4月から7月までの4か月間の「物語」の貸出冊数の変化の様子を、それぞれ折れ線グラフにまとめました。



けんたさんは、上の2つのグラフの、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の変化の様子を見比べて、次のように言いました。



A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの線のかたむきが急です。  
だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きいです。

けんたさんが言っている、—— 仰のことは正しくありません。そのわけを、グラフから読み取れる貸出冊数に着目して、言葉や数字を使って書きましょう。

問題の概要

(3) A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読み取った事柄について、正しくないわけを書く

正答

(3) (例)  
5月から6月までの「物語」の貸出冊数は、A小学校が約400冊増えていて、B小学校が約300冊増えています。  
だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きくないです。

B4 (3) 正答率：25.0%

グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できるかどうかをみる

〔誤答例〕

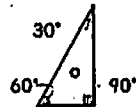
- ・ 解答類型5：13.6%
- A小学校の方が貸出冊数の増え方が大きいことには着目できているが、具体的な数値を用いて記述できていない。
- ・ グラフから貸出冊数を読み取ると、B小学校よりA小学校の方が貸出冊数の増え方が大きいです。

解説が正しくないことの理由を、グラフの視覚的な変化の様子にとらわれずに、読み取ることができる情報を根拠にして説明することに課題がある。

**B5** 図形の構成と論理的な考察 (三角定規でつくる形)

右のような、 $30^\circ$ 、 $60^\circ$ 、 $90^\circ$ の角をもつ三角定規があります。

この三角定規を2枚使って、同じ長さの辺をあわせて、次の3種類の図形をつくりました。



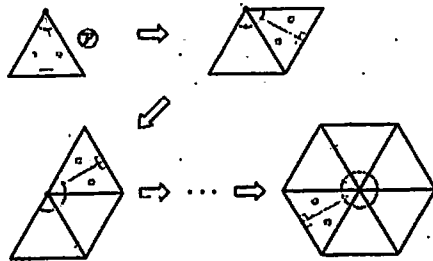
- ① 正三角形
- ② 二等辺三角形
- ③ 四角形



これらの図形の中から1種類を選んで形をつくります。  
②、①、③のそれぞれの角が1つの点のまわりに集まるように、選んだ図形を並べていくと、どのような形ができますか。



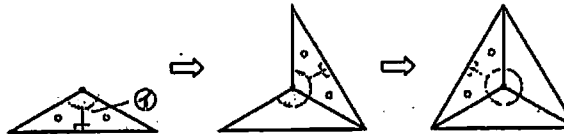
②の角が1つの点のまわりに集まるように、①の正三角形を並べていくと、もつて、正六角形ができました。



(1) 次に、下のように、②の二等辺三角形を選んで形をつくります。



①の角が1つの点のまわりに集まるように、②の二等辺三角形を並べていくと、3つで、正三角形ができました。



どうして3つでぴったりつくることができるのでしょうか。



$360 \div 120 = 3$ で、商が3になり、わり切れるからです。



そうですね。  
では、 $360 \div 120$ は、どのようなことを計算している式ですか。説明してみましょう。

$360 \div 120$ は、どのようなことを計算している式ですか。  
言葉と数を使って書きましょう。その際、「360」と「120」が何を表しているかがわかるようにして書きましょう。

**問題の概要**

- (1) 示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く

**正答**

- (1) (例)  
360は、1回転した角の大きさを表しています。  
120は、①の角の大きさを表しています。  
 $360 \div 120$ は、 $360^\circ$ の角の中に $120^\circ$ の角がいくつ入るかを計算している式です。

**B5** (1) 正答率：7.0%

示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することができるかどうかをみる

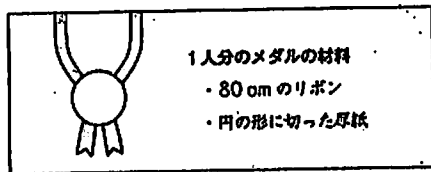
**【誤答例】**

- ・解答類型5：21.7%
  - 360が1回転した角の大きさであることと、120が①の角の大きさであることを記述できているが、被除数は除数の幾つ分かを計算している式であることを記述できていない。
  - ・360は、1回転した角の大きさです。120は①の角の大きさです。
- ・解答類型7：14.4%
  - 120が①の角の大きさであることを記述できているが、360が1回転した角の大きさであることを、被除数は除数の幾つ分かを計算している式であることを記述できていない。
  - ・120は①の角の大きさです。360は $120 \times 3$ です。

➡ 除法の式を、並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味を説明することに課題がある。

### B3 日常生活の事象の数学的な解釈と根拠の説明（メダルづくり）

ともみさんの学校では、小学校に入学する前の子どもたちを招待して学習発表会を行います。子どもたちは、24人来る予定です。学習発表会では、来る予定の子どもたち全員に、メダルを作ってわたすことになっています。1人分のメダルの材料は、次のとおりです。



先生は2000 cmのリボンと、縦が39 cm、横が54 cmの長方形の厚紙を用意しています。ともみさん、はるおさん、あかねさんの3人は、リボンと厚紙が足りるかどうかにて考えています。

(1) 24人分のメダルの材料として、今あるリボン2000 cmで足りるかどうかを、3人はそれぞれの式で考えています。

ともみ  $80 \times 24 = 1920$

はるお  $2000 \div 80 = 25$

あかね  $2000 \div 24 = 83.3 \dots$

ともみ はるお あかね リボンは足りません。

上の3人の式は、それぞれ何を調べるための式ですか。下の1から3までの中から1つずつ選んで、それぞれ番号を書きましょう。

- 1 今あるリボンから、1人分のリボンを何本取ることができるか
- 2 今あるリボンから、1人あたり何cm取ることができるか
- 3 全員分のリボンを取るのに必要な長さは何cmか

#### 問題の概要

(1) 三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかを説明した文を選択する

#### 正答

(1) ともみ：3  
はるお：1  
あかね：2

B3 (1) 正答率：62.7% [誤答例]

示された乗法や除法の式の意味を解釈することができるかどうかをみる

・ 解答類型6

(ともみ：3、はるお：2、あかね：1と解答している)：19.1%

- 示された乗法の式の意味を解釈することはできているが、示された二つの除法の式の意味を正しく解釈することと、等分除と包含除の意味を理解することができていない。

乗法や除法の式の意味を解釈することに課題がある。

# 中学校国語

## B 1 情報を読む (漆)

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

- 条件1 「表は、……。裏は、……。」という形で書くこと。  
 条件2 表裏の工と、その効果を具体的に書くこと。  
 条件3 四十文字以上、八十文字以内で書くこと。

三 【博物館の暮らし(裏)と】博物館の暮らし(裏)には、それぞれどのような表現の工夫がありますか。また、それらにはどのような効果があると思いますか。あなたの考えを、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。  
 なお、読み返して文章を直したいときは、下書きで消したり行間を空き加えたりしてもかまいません。

【博物館の暮らし(裏)】

「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。  
 『暮らしの中の伝統文化展』の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを実感してみませんか。

**うるしの世界**

おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美だけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

**展示内容(1階展示室)**

展示内容(1階展示室):  
 展示コーナー① 原料としての漆の性質  
 展示コーナー② 漆製品の製造工程  
 展示コーナー③ 暮らしの中の漆製品  
 入口、出口

**関連イベント**

～漆製品を使ってみよう～  
 漆の器とスプーンでアイスクリームを味わいます。また、使用後の平入れの仕方も体験できます。漆の器の楽しさや手触りのよさなどを感じてみませんか。  
 日時：開催期間中の土曜日 午後3時～午後4時  
 場所：1階特別室  
 定員：20名(無料・当日受付)

～職人の技を見てみよう～  
 この道30年の職人による漆塗りの実演を見ることができ、交流する時間もありますので、伝統を受け継ぐ職人としての思いなどを直接聞いてみませんか。  
 日時：開催期間中の日曜日 午前10時～午前11時  
 場所：1階ホール  
 定員：30名(無料・当日受付)

【博物館の暮らし(裏)】

次の「博物館の暮らし(裏)」と「博物館の暮らし(表)」を比べて、おさらいに書きなさい。

**暮らしの中の 伝統文化展**

第1期  
うるしの世界

2016年 **5月21日(土) - 6月19日(日)**

開館時間：午前9時30分～午後5時  
 休館日：月曜日  
 入館料：一般300円・大学生・高校生200円  
 中学生以下無料

第2期：『稲垣の世界』6月26日(土)～7月24日(日)  
 第3期：『漆器の世界』7月30日(土)～8月28日(日)

**草木市立博物館**  
 〒900-9859 草木市同町7  
 電話 000-123-xxxx  
<http://www.hakutsutsukan.xx.jp>

### 問題の概要

三 ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く

### 正答

三 (例)  
 表は、日付を大きく示していて、開催期間が把握しやすい。裏は、「……ませんか」と呼びかける表現を用いていて、親しみがわきやすい。



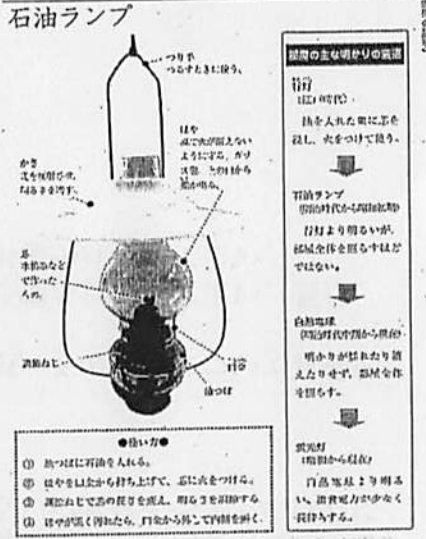
B 3 情報を関連させて物語を読む（「おじいさんのランプ」）

【問題の概要】

昔々ある村に、おじいさんがランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。

おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。

おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。おじいさんは、ランプの明かりを大切にしていた。



三 あなたは、「問題の説明」を読むことで、「問題の一部」の中での部分についてよく分かった部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く。

問題の概要

三 図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く

正答

三 (例) 図鑑の説明から、天井が煤で真っ黒になっているのは、ほやの上の口から煤が出るためであることが分かりました。

B1 三 正答率：68.4%

文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（目的を持ち、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと）を踏まえたもの

〔誤答例〕

・解答類型3（条件1、3を満たし、2を満たさない）：22.3%

- 表現の工夫は捉えているが、その効果について書くことができていない。
  - ・表は、開館時間や料金、場所について重要なことが書いてあります。裏は、うるしや関連イベントの内容について書いてあります。
- 表現の工夫は捉えているが、その効果について具体的に書くことができていない。
  - ・表は、日付や場所が大きく書かれていてよい。裏は、展示内容や関連イベントが書かれていてよい。

B3 三 正答率：58.4%

本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くこと）を踏まえたもの

〔誤答例〕

・解答類型2（条件1を満たし、2を満たさない）：9.2%

- 【図鑑の説明】の内容を適切に取り上げて書くことができていない。
  - ・「へんてこれんなもの」というところが、図鑑を見て分かるようになった。
- 電灯に関する叙述をランプに関する叙述と混同しており、【物語の一部】の  のよく分かるようになった部分と【図鑑の説明】の内容とを適切に結びつけて書くことができていない。
  - ・真昼のように明るくなったところについてよく分かった。石油ランプのかさの部分で光が反射し、よりいっそう明るくなったということだ。
- ・解答類型3（条件2を満たし、1を満たさない）：7.8%
- 【図鑑の説明】の内容を取り上げて書いてはいるが、【物語の一部】の  の中のどの部分についてよく分かるようになったのかを明確にして書くことができていない。
  - ・「明かりが揺れたり消えたりせず、部屋全体を照らす」ことがわかった。

自分の考えを書く際に、根拠を示すことは意識されているが、根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味したり、どの部分が根拠であるかが明確になるような表現上の工夫をしたりすることに、依然として課題がある。

B 2 説明的な文章を読む (宇宙エレベーター)

【雑誌の記事】

2 高橋さんは、次の「雑誌の記事」を読んで宇宙エレベーターに興味をもち、調べています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

# もう夢物語ではない！ エレベーターで宇宙へ

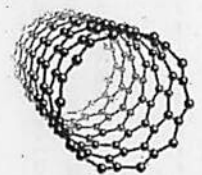
地上と宇宙を結んで、人や物の行き来を可能にする「宇宙エレベーター」。これまではSF小説やアニメに登場する、空想世界だけの技術と考えられていたが、今や実現可能な技術として期待されている。

ケーブルで地上と宇宙を結ぶ

赤道上の高度約3万6000kmの位置に宇宙ステーションを建設すると、地球の自転と同じ約24時間で一周するため、地上からは静止しているように見える。この宇宙ステーションから、地上へ向けてカーボンナノチューブを素材とするケーブルを伸ばしていくと、ケーブルはへもケーブルを伸ばしてバランスを保つ必要がある。

新たな物質の発見

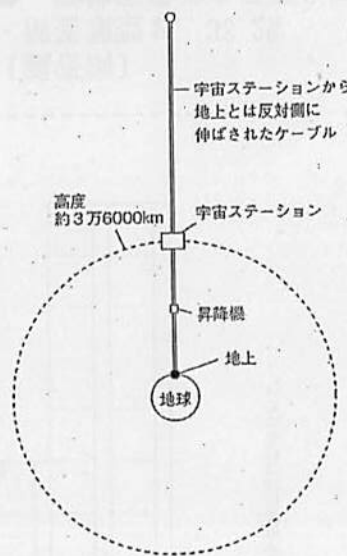
宇宙エレベーターが空想世界だけの技術と考えられていた理由の一つは、ケーブルを作るに十分な素材がないことだった。しかし、1991年にカーボンナノチューブという物質が発見された。カーボンナノチューブは炭素でできた物質であり、非常に強く軽いという特性をもっている。この発見により宇宙エレベーター実現の可能性が高まった。



▲カーボンナノチューブの構造

現在、鉄の100倍の強度にすることを目指して研究が進められている。

## 宇宙エレベーターのイメージ

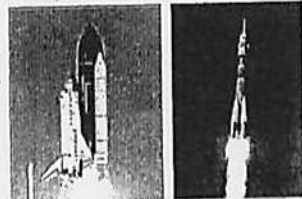


### 誰でも宇宙へ

現在、宇宙飛行士になるためには、健康面や科学的な知識、語学力などに開する様々な資質が求められている。しかし、宇宙エレベーターは安全性が確保されれば、地上のエレベーターと同じように乗ることができると考えられている。宇宙エレベーターを使えば、誰でも宇宙に行くことができるようになるかもしれない。

### 大量輸送もOK

これまでは、宇宙へ行くための方法として、スペースシャトルやソユーズなどのロケットを利用してきた。しかし、これらのロケットには大抵の燃料などを積み込むため、荷物を多く積むことができなかった。それに對して、電力で動く宇宙エレベーターを使えば、昇降機で大量の荷物やたくさんの人を宇宙に運ぶことが可能になる。



▲スペースシャトル(左)とソユーズ(右)

### ロケットよりも安い費用

ロケットは、打ち上げに多くの費用がかかることに加え、使った機体の再利用も課題となっている。一方、宇宙エレベーターは外から供給される電力で動かすことが想定されており、また、長い期間にわたって繰り返し使うことが可能なので、安い費用で宇宙に行くことができると考えられている。



▲宇宙から見た地球



A9 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 1 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。
- 2 文の成分の照応について理解しているかどうかをみる。
- 3 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。
- 4 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

【A】

「サグラダ・ファミリア」は、バルセロナからスペインで建設されている聖堂です。それは、とても日本人が建設した人々を驚かしていることを知っています。

【B】

「サグラダ・ファミリア」は、バルセロナからスペインで建設されている聖堂です。それは、日本人が建設した人々を驚かしていることを知っています。



写真（建設中のサグラダ・ファミリア）

五 次は、世界地図に示す「サグラダ・ファミリア」を指す文章「A」と、それを改訂した文章「B」です。改訂された箇所として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から、1つ選びなさい。

- ア 段は、忙しい仕事の合間を1付けて、  
イ 段は、忙しい仕事の合間を1付けて、  
ウ 段は、忙しい仕事の合間を1付けて、  
エ 私がプリントを集めて、先生にお届けします  
オ 会長候補として、白羽の矢が立つ

三 次のアからオの文では、( ) の中の1から4までのうち、改訂された箇所が最も適切なものを、それぞれ1つ選びなさい。

問題の概要

- 三 適切な語句・敬語を選択する
- ア 彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた
- イ 厳しい挑戦だということは、もちろん分かっています
- ウ 弟子を手塩にかけて育てる
- エ 私がプリントを集めて、先生にお届けします
- オ 会長候補として、白羽の矢が立つ
- 五 文章を書き直した意図として適切なものを選択する

正答

- 三 ア：2 イ：4 ウ：3 エ：2 オ：1
- 五 4

- A9 三
- ア 正答率：91.2%
- イ 正答率：98.0%
- ウ 正答率：60.0%
- エ 正答率：94.4%
- オ 正答率：54.7%

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる

（三ウは、24年度調査と同一問題）  
（正答率：62.3%）

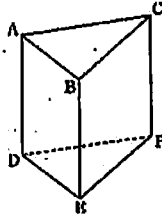
A9 五 正答率：51.1%

文の成分の照応について理解しているかどうかをみる

- ・ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題がある。
- ・ 文の成分の照応について理解することに課題がある。

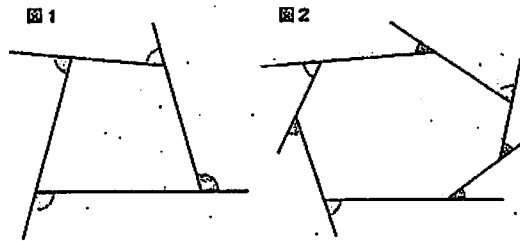
A5 空間図形

(1) 下の図の三角柱には、辺ADとねじれの位置にある辺がいくつかあります。そのうちの1つを書きなさい。



A6 平面図形の基本的な性質

(2) 次の図1、図2は、多角形の各頂点において一方の辺を延長したものです。  
この2つの図で、それぞれ印を付けた角(∠)の和を比べると、どのようなことがいえますか。下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。



- ア 図1で印を付けた角の和と図2で印を付けた角の和は等しい。
- イ 図1で印を付けた角の和の方が大きい。
- ウ 図2で印を付けた角の和の方が大きい。
- エ 図1で印を付けた角の和と図2で印を付けた角の和のどちらが大きいかは、問題の条件からだけではわからない。

問題の概要

- 5 (1) 三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く
- 6 (2) 多角形の外角の和について、正しい記述を選択する

正答

- 5 (1) (辺) BCまたはEF
- 6 (2) ア

A5 (1) 正答率：75.9%

空間における直線と直線との位置関係(辺と辺とがねじれの位置にあること)を理解しているかどうかをみる

19年度調査(正答率：70.9%)及び23年度調査(未実施)と同趣旨の問題  
※ 直方体において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く

A6 (2) 正答率：69.8%

多角形の外角の和の性質を理解しているかどうかをみる

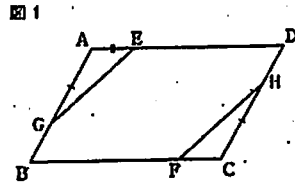
21年度調査と同一問題(正答率：66.7%)

空間における直線と直線の位置関係を理解することについて、改善の傾向が見られる。

多角形の外角の和の性質を理解することについて、改善の傾向が見られる。

## A 8 証明の必要性和意味

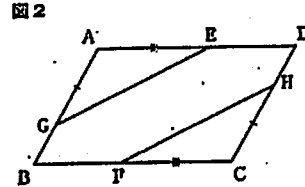
- 8 平行四辺形ABCDで、辺AD、BC上に、 $AE = CF$ となるように点E、Fをそれぞれとります。また、辺AB、CD上に、 $AG = CH$ となるように点G、Hをそれぞれとります。このとき、 $EG = FH$ となることを、ある学級では、次の図1をかいて証明しました。



証明

△AEGと△CFHにおいて、  
 仮定より、 $AE = CF$  ･･････①  
 $AG = CH$  ･･････②  
 平行四辺形の向かい合う角は等しいから、  
 $\angle BAG = \angle FCH$  ･･････③  
 ①、②、③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので、  
 $\triangle AEG \cong \triangle CFH$   
 合同な図形の対応する辺は等しいので、  
 $EG = FH$

この証明をしたあと、点E、Fの位置を図2のように変えました。このときも図1と同じように $EG = FH$ となるかどうかを考えてみたところ、下のアからエまでのような意見が出ました。正しいものを1つ選びなさい。



- ア 図2の場合も、 $EG = FH$ であることは、すでに前ページの証明で示されている。  
 イ 図2の場合は、 $EG = FH$ であることを、改めて証明する必要がある。  
 ウ 図2の場合も、 $EG = FH$ であることを、それぞれの辺の長さを測って確認しなければならない。  
 エ 図2の場合は、 $EG = FH$ ではない。

### 問題の概要

証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選択する

### 正答

ア

A 8 正答率：62.3%

証明の必要性和意味を理解しているかどうかをみる

〔誤答例〕

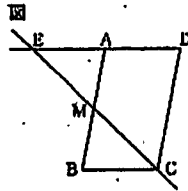
- ・ 選択肢イ（改めて証明する必要がある）を解答：25.6%

「4年間のまとめ」で指摘した課題（証明の必要性和意味を理解すること）や24年度及び25年度調査での課題（証明するためにかかれた図は、すべての代表として示されている図であることを理解すること）を踏まえたもの

証明の必要性和意味を理解することに依然として課題がある。

**B 4** 筋道を立てて証明し、条件を付加して考えること（ICT活用）

4 右の図のように、平行四辺形ABCDの辺ABの中点をMとし、辺DAを延長した直線と直線CMとの交点をEとします。ここで、健一さんと琴音さんは、コンピュータを使って平行四辺形ABCDをいろいろな形の平行四辺形に変え、いつでも成り立ちそうなことがらについて調べました。

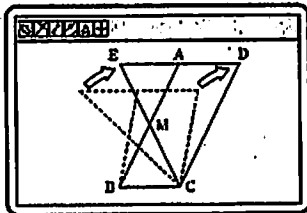


(1) 二人の予想した  $AE = BC$  がいつでも成り立つことは、前ページの図において  $\triangle AME \cong \triangle BMC$  を示すことから証明できます。  $AE = BC$  となることの証明を完成しなさい。

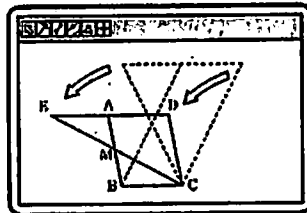
証明

$\triangle AME$  と  $\triangle BMC$  において、

合同な図形の対応する辺は等しいから、  
 $AE = BC$



平行四辺形ABCDを、縦にのぼしながら、右に傾ける。



平行四辺形ABCDを、縦に縮めながら、左に傾ける。



二人は、コンピュータの画面上で図形を観察し、平行四辺形ABCDがどのような平行四辺形でも、 $AE = BC$  になると予想しました。

**問題の概要**

(1) 二つの辺の長さが等しいことを三角形の合同を利用して証明する

**正答**

(1) (例)

( $\triangle AME$  と  $\triangle BMC$  において、)

仮定より、 $AM = BM$  …①

対頂角は等しいから、

$\angle AME = \angle BMC$  …②

平行線の錯角は等しいから、

$\angle MAE = \angle MBC$  …③

①、②、③より、

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle AME \cong \triangle BMC$

(合同な図形の対応する辺は等しいから、 $AE = BC$ )

**B 4** (1) 正答率：30.0%

筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（事柄が成り立つ理由を説明すること）を踏まえたもの

**【誤答例】**

- ・ 解答類型 6 (仮定として  $AE = BC$  を用いている) : 7.2%
- ・ 解答類型 7 ( $AE = BC$  以外で仮定とされていないものを用いている) : 15.9%

- 明らかになっていない関係を根拠として用いている。
  - ・ 仮定より、 $AM = BM$  ……①  $EM = CM$  ……②
  - 対頂角は等しいから、 $\angle AME = \angle BMC$  ……③
  - ①、②、③より、2辺とその間の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle AME \cong \triangle BMC$

図形の性質について筋道を立てて証明することに課題がある。



A12 最頻値の意味

- (1) ある中学校の3年生120人について、最近1か月間に読んだ本の冊数を調べました。下の表は、その結果をまとめたものです。読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。

読んだ本の冊数(冊)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
人数(人)	9	16	29	23	15	13	14	0	1	120

問題の概要

- (1) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める

正答

- (1) 3

A12 (1) 正答率：46.2%

資料を整理した表から最頻値を読み取ることができるかどうかをみる

24年度調査で見られた課題（資料を整理した図から最頻値を読み取ること）を踏まえたもの

〔誤答例〕

- ・ 解答類型2（29と解答している）：11.4%
- 読んだ本の冊数の最頻値と、最頻値である3冊の本を読んだ人数を混同している。



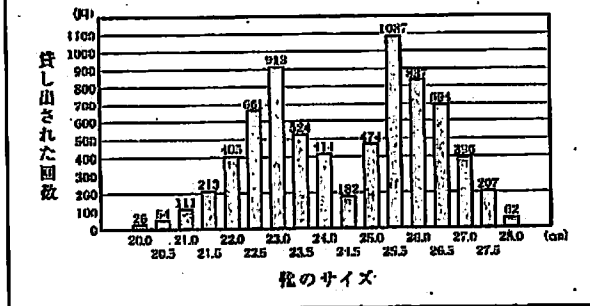
資料を整理した表から最頻値を読み取ることには課題がある。

## B5 情報の適切な選択と判断（貸し出し用の靴）

- 5 あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいもの買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月に靴が貸し出された回数について調べました。

調べたこと

- 貸し出し用の靴の総数 200 足
- 貸し出された回数の合計 7260 回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5 cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



上のグラフから、例えば、23.5 cm の靴は 524 回貸し出されたことがわかります。  
調べたことをもとに、どのサイズの靴を何足買うかを考えます。

- (1) 「貸し出された靴のサイズの平均値である 24.5 cm の靴を最も多く買う」という考えは適切ではありません。その理由を、調べたことのグラフの特徴をもとに説明しなさい。

### 問題の概要

- (1) 24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由をグラフの特徴を基に説明する

### 正答

- (1) (例)  
グラフの山の頂上にあたる靴のサイズは24.5cmではないので、24.5cmの靴を最も多く買うことは適切ではない。

## B5 (1) 正答率：48.1%

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる

「4年間のまとめ」で指摘した課題（事柄が成り立つ理由を説明すること）を踏まえたもの

### 〔誤答例〕

・解答類型 7 : 16.5%

- 24.5cmの靴の貸し出された回数が少ないことに着目することはできても、24.5cmの靴の貸し出された回数を他のサイズの靴の貸し出された回数と比較する必要があることを理解できていない。  
・24.5cmの回数は少ないから。

資料の傾向を的確に捉えて判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。